鹿高防災だより

令和4年度　第３号
台風編　防災教育担当

台風が接近しやすい時期になりました。

台風は予測可能！事前の備えが大事です。

９月６日（火）は台風 11 号の影響で臨時休校になりました。また、地球温暖化の影響で大型台風が発達しやすくなっており、今後は更に台風対策が必要になってきます。台風についての知識を身につけ、備えをしっかり行いましょう。

～台風の基礎知識について～

①台風の右側と左側では風の強さが異なります。
（台風が西側を通る時は要注意！）

台風の左側を可航半円、台風の右側を危険半円といいます。これは、台風の回転方向と進行方向が関係しています。住んでいる地域の西側（左側）を台風が通過するときは通常よりも風が強くなります。台風がどこを通過するのかを把握するのも大事なことです。

②予報円の大きさと、台風の強さは関係ありません。

右図を見てください。このような図をよく見ると思いますが、円が大きいほど台風が大きい（強い）訳ではありません。この円は「台風の中心が 70%の確率で入ると予想される範囲（予報円）」を示しています。
円が大きい＝予報の信頼度が低い
円が小さい＝予報の信頼度が高い
と考えましょう。



気象庁 HP より引用

③温帯低気圧になっても注意が必要です。
（強くなることもあります。）



「台風が温帯低気圧に変わる＝風速が弱くなる」は違います。台風の**構造が**温帯低気圧に**変わる**だけです。2004 年の台風 18 号は、温帯低気圧に変わりながら発達し、最大風速 50m/s 以上が観測されました。温帯低気圧に変わっても油断しないようにしましょう。

～対策・避難について～

①ハザードマップを活用しましょう。

台風によって大雨や暴風、高潮などの災害が発生する可能性があります。事前に**周辺で浸水や土砂災害の危険性が高い場所、避難場所**等を必ず確認しましょう。また、**「避難所＝学校」ではありません。**例えば鹿本高校は避難所に指定されていません。自分の住む地域の避難所は把握できていますか。

②熊本防災情報メールサービスの登録をしましょう　→　→　→

県内の気象情報や災害発生に関する情報のほか、市町村が発表する避難情報、避難所開設情報などが、直ちにメール配信されるサービスです。地域指定もできます。登録は３分程度で終わります。

「災害は自分の身にも必ず降りかかる」と考え、事前の備えを行いましょう。